

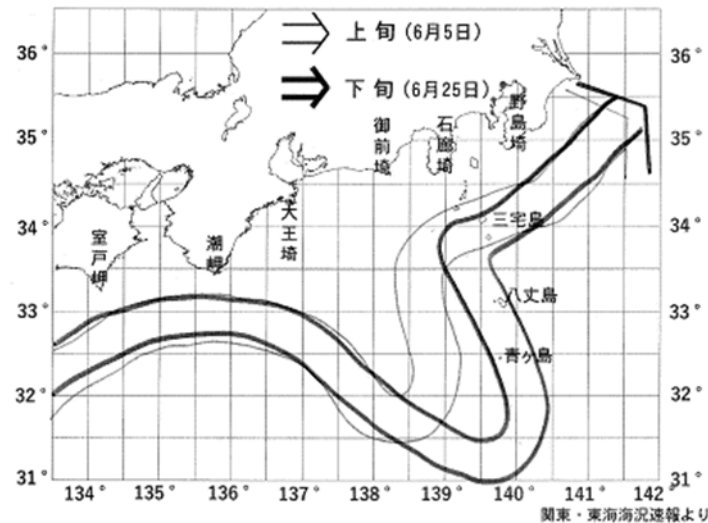
漁海況月報

令和7年6月1日

No. 6 ～6月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



6月定地水温の旬平均値(℃) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.1	20.6	21.1	21.5	22.3	21.4
	0.0	0.6	1.2	1.1	1.5	0.6
中旬	21.9	20.7	21.3	22.7	23.9	22.7
	1.1	0.1	1.0	1.5	2.4	1.3
下旬	23.3	22.2	22.6	25.0	25.5	24.4
	1.9	1.3	2.1	3.2	3.2	2.4
月	21.8	21.2	21.6	23.1	23.9	22.8
	1.0	0.7	1.4	2.0	2.3	1.5

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

6月を通じてB型で、御前崎沖で大きく離岸した後、上旬は駿河湾沖まで、中旬～下旬は石廊崎沖まで北上する流路となった。

上旬は御前崎沖で大きく離岸し、御前崎沖31.5°N付近から駿河湾沖34.0°Nまで北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。

中旬は駿河湾沖で大きく離岸し、駿河湾沖31.0°N付近から石廊崎沖34.5°N付近まで北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。暖水波及が潮岬沖の黒潮北縁から熊野灘、遠州灘に向けて見られた。

下旬も駿河湾沖で大きく離岸し、駿河湾沖31.0°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後、三宅島を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から駿河湾に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東で「平年並」、稲取、下田、雲見、焼津で「やや高め」、沼津で「高め」であった。中旬は稲取で「平年並」、伊東、下田、焼津で「やや高め」、雲見、沼津で「高め」であった。下旬は稲取で「やや高め」、伊東、下田、焼津で「高め」、雲見、沼津で「極めて高め」であった。

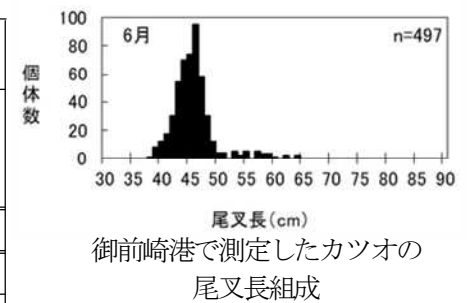
【竿釣カツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは51.6トンで前年同月(82.9トン)の62%であった。平均単価は860円/kgで前年同月(305円/kg)を上回った。

漁場は34°N、138°Eの遠州灘沖や銭洲、金洲などで、6月6日に御前崎港で実施した市場調査では、金洲において漁獲されたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長46cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期 間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R7年6月上旬	12.9	10	1.3	756
	21.9	12	1.8	832
	16.8	11	1.5	976
R7年6月計	51.6	33	1.6	860
R6年6月計	82.9	29	2.9	305
R5年6月計	117.5	38	3.1	429



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は436.1トンで、前年(477.0トン)の91%、平年(386.4トン)の1.1倍であった。また、1か統当たりの水揚げ量は62.3トン(前年:68.1トン、平年:55.2トン)であった。水揚げ量が多い漁場は、古網漁場(106.5トン、マアジ、さば類、マイワシ)、次いで伊豆山漁場(90.0トン、さば類、マアジ、マルソウダ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は164.1トン、前年比4.6倍、平年比1.5倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは27.1トン、前年比49.7倍、平年比1.8倍、ゴマサバは85.2トン、前年比3.1倍、平年比1.0倍、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は51.8トン、前年比6.9倍、平年比4.2倍であった。マアジは70.5トン、前年比85%、平年比1.3倍であり、このうち、じんだ(小型当歳魚銘柄)は2.1トン、前年比94%、平年比46%であった。マルソウダは55.0トン、前年比17%、平年比1.2倍であった。マイワシは45.0トン、前年比32.2倍、平年比1.7倍であった。カタクチイワシは27.3トン、前年比105.7倍、平年比59%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では赤沢漁場が29%(47.7トン)、北川漁場が18%(30.2トン)、マアジでは伊豆山漁場が47%(33.1トン)、古網漁場が31%(22.2トン)、マルソウダでは川奈漁場が36%(20.0トン)、富戸漁場が29%(16.1トン)、北川漁場が15%(8.4トン)、マイワシでは古網漁場が44%(20.6トン)、伊豆山漁場が41%(19.1トン)、カタクチイワシでは古網漁場が94%(25.5トン)であった。

*平年：昭和57年～令和6年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場				
魚 種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	164.1	4.56	1.48	赤沢、北川
マアジ	70.5	0.85	1.27	伊豆山、古網
マルソウダ	55.0	0.17	1.18	川奈、富戸、北川
マイワシ	45.0	32.18	1.74	古網、伊豆山
カタクチイワシ	27.3	105.67	0.59	古網

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業した。漁場は上旬は金洲、大室出し、中旬は初島、銭洲、下旬は利島、大島千波に形成された。水揚量はゴマサバ62 トン（前年同月75%）であり、1 隻当たり水揚量はゴマサバ3.1 トン（前年同月78%）であった。マサバはゴマサバに混獲される程度であった。

平均単価は、マサバは189 円/kg で前月（160 円/kg）を上回り、前年同月（216 円/kg）を下回った。ゴマサバは188 円/kg で前月（201 円/kg）、前年同月（201 円/kg）を共に下回った。

ゴマサバの体長組成は34cm にモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量									
期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻（トン）		平均単価（円/kg）		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7 年6 月上旬	－	5	3	5	－	0.1	－	190	金洲、大室出し
中旬	0	13	3	5	0.0	2.6	189	190	初島、銭洲
下旬	－	44	5	10	－	4.4	－	187	利島、大島千波
R7 年 6 月計	0	62	11	20	0.0	3.1	189	188	利島、大島千波、金洲、大室出し、初島、銭洲
R6 年 6 月計	0	83	12	21	0.0	4.0	216	201	大島千波、利島、三宅、ひょうたん瀬
R5 年 6 月計	1	206	14	27	0.0	7.6	171	180	利島

＊水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

6 月の出漁日数は1 日、水揚量は11.1 トンであった（前年同月の出漁日数は1 日、水揚量は2.9 トン）。主漁場は由比沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は39mm にモードがあった。

サクラエビ水揚量			
期 間	水揚量(トン)	日 数	漁 場
R7 年6 月 計	11.1	1	由比沖
R6 年6 月 計	2.9	1	戸田沖
R5 年6 月 計	24.6	3	田子の浦沖～蒲原沖
R4 年6 月 計	24.8	3	富士川沖～興津川沖

＊水揚量については、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

県内7 港における1 日1 か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が297kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が48kg であった。平均水揚量は266kg で前年同月（179kg）の1.5 倍、平年同月（過去5 か年平均：291kg）の91%であった。また、総水揚量は358 トンで前年同月（327 トン）の1.1 倍、平年同月（632 トン）の57%で前年同月を上回ったが平年同月を大きく下回った。平均単価は1,497 円/kg で前年同月（1,282 円/kg）の1.2 倍、平年同月（1,039 円/kg）の1.4 倍で、前年同月、平年同月を上回った。

＊平年：過去5 か年（令和2 年～令和6 年）の平均値

7 港のシラス水揚量						
漁 港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量（kg/統）	平均単価（円/kg）
遠州灘	新 居	56.3	15	176	320	1,299
	舞 阪	195.4	15	594	329	1,488
	福 田	93.4	15	366	255	1,534
	御前崎	5.5	8	45	121	1,984
駿河湾	吉 田	5.3	8	129	41	2,400
	用 宗	2.6	5	37	70	2,243
	由 比	0.0	0	0	－	－
R7 年 6 月計		358.5	66	1,347	266	1,497
R6 年 6 月計		326.7	91	1,826	179	1,282
R5 年 6 月計		563.7	103	2,213	255	1,592

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、沼津港では30.7 トン（前年同月比683 倍、平年同月比25%）、伊東港では1.5 トン（前年同月比1.9 倍、平年同月比12%）、小川港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは沼津港、小川港、静浦港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7 か統の水揚量は、マイワシは47 トン、カタクチイワシは27 トンであった。

＊平年：過去5 か年（令和2 年～令和6 年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

6 月 4 日	～	6 月 6 日	地先定線観測調査	(3 日間)
6 月 9 日	～	6 月 10 日	さば類撒き餌・音響調査	(2 日間)
6 月 12 日	～	6 月 13 日	流況調査	(2 日間)
6 月 16 日	～	6 月 17 日	サクラエビ卵幼生調査	(2 日間)
6 月 18 日	～	6 月 19 日	サクラエビ音響調査	(2 日間)
6 月 23 日	～	6 月 24 日	いわし類卵稚仔分布調査	(2 日間)
6 月 26 日			ROV 調査	(1 日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
 海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>
 右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、
 関東・東海海況速報等を見ることができます。

